

7 JAC RECYCLE JOURNAL

2020.07. July

株式会社ジェーエーシー

① 浮上する「コロナごみ」問題 ポイ捨てマスク、海に流入

◆海を汚すマスク 自然分解まで数百年

フランスの非営利団体「Operation Mer Propre」は、南仏の保養地として知られる海岸地帯のコートダジュールのごみを定期的に回収しているが、最近使い捨てカップやアルミ缶といったごみに混じって、手袋、マスク、消毒薬のボトルといった「コロナごみ」の増加を確認しているという。現在のところ大量というには程遠い量だが、このままだと地中海はクラーゲよりマスクのほうが多い状態になりそうだとしている（ガーディアン紙）。

使い捨てマスクは、ポリプロピレンなどのプラスチックを材料にしていることがしばしばだ。フランスの週刊紙「パリジャン」によれば、自然に分解されるまでの時間は、トイレトーパーで数週間、たばこの吸殻は1〜3年だが、医療用使い捨てマスクは300〜400年もかかるという。現在フランスでは公共の道路や歩道でのポイ捨てには68ユーロ（約8200円）の罰金が科されるが、「コロナごみ」の増加で、罰金を135ユーロ（約1万6300円）に引き上げようという法案が出されている。ポイ捨てされたごみは海へ流れ込むことがしばしばで、海を守るためには歩道をきれいにするところから始めなければならないということだ（フォーブス誌）。

◆今後も増えるコロナごみ 責任を持って廃棄を

フォーブス誌は、コロナの流行で、空の旅の減少による二酸化炭素排出削減、野生動物の増加、都市の大気汚染の減少など、短期的な環境へのポジティブなインパクトはあったが、やはりパンデミック後も残る大量の「コロナごみ」が問題化すると指摘する。ユーロ・ニュースによれば、ロックダウン解除の段階にあるイタリアでは、今後も1ヶ月に10億枚のマスクと5億枚の手袋が必要になると推定されており、「コロナごみ」の増加は続きそうだ。

newsphere.jp より引用

厚生労働省：マスクについてのご案内

新型コロナウイルス感染症対策

マスクについてのご案内

1 マスクは買い占めなくても大丈夫
2 使い捨てマスクが代用品を使おう
3 こまめな手洗いなどの基本も大事

マスク不足を解消するために買戻しを検討して毎週1億枚以上のマスクを消費者のみなさまにお届けします。

マスクはどう捨てればいい?!

外気に当たる面を触らないように外す

ポリ袋の口を縛って捨てる
捨てた後は必ず手を洗う

水にぬらして捨てる

水の粒子をあてることで
コロナウイルスを減らすことができます

<マスクの捨て方>
・マスクを水にぬらして捨てることで、コロナウイルスを流すことができるという。警視庁ツイッターによると、外気に当たる面を触らないように外し、ポリ袋の口を縛って捨て、捨てた後は必ず手を洗うことを推奨しています。



ジェーエーシー公式のキャラクター 沢山の応募の中から 「未来カケル」くん に命名しました!



名前の由来、意味・・・

前に一歩一歩進んでいく (未来へ進む)

2020年4月 JACグループ全社員・スタッフへ
社内応募を行い、最終決定しました。



編集部だよ！

自粛・自粛の毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？とはいえ、私のお腹は中々自粛して盛れないみたいで、毎日大盛めし過ぎておりました。そんな中、何を思ったか最近運動の一環で水泳を再開し、息を切らしながらジムで水泳を楽しんでおります。そんな中で、口野球はスタジアムで観戦できるみたいですね！

名付け親

20代女性社員

多くの皆様に愛されるキャラクターになってもらいたいです!

今後、ホームページや屋外広告TVCMなどで活躍するかも！お楽しみに!!